

第28回

うつのみやこども賞だより

平成23年度 第7回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『ぼくたちは秘密基地をつくった』

木堂椎／作 （集英社）

～読んだ本の感想より～



●本当にできそうな、ありえなそうな事。だけどドキドキするひきずりこまれる物語になっていて、1回目はヤタローとしてそして2回目は私がいたら…と考えながら読むことができる本でした。

●秘密基地って素敵だなあと思いました。弥太郎達の友情がどんどん強くいく所に感動しました。面白い本でした。友達にすすめたいです。

●「負けない。必ず気持ち良く勝ってみせる。」という智久の言葉に強い気持ちと正堂堂と戦おうとする気持ちを感じました。

●5人が秘密基地をつかって、仲良くなっていくのがとてもよかった。友情がよく分かるはなしでした。

●すごくおもしろかった。5人の友情に感動したからです。ぼくも友達といっしょに秘密基地を作りたいと思った。友達にもしょうかいしたいと思いました。

- ヤタロー、智久、豪、杏、みさきの5人の友情に感動しました。
- 5人のゆうじょうがすごくよくおもしろかった。

『ハリィにおまかせ！』 木下繁／作 （講談社）

- ハリィが針だけでみんなを幸せにするところがよかったです。
- ハリィの性格がおもしろかったです。ハリィと四組の委員長の勝負がおもしろかったです。
- 鍼灸の治りようで、人の命を救えるということにびっくりした。
- わたしは鍼灸というものはじめて知りました。
- 小学生のハリィが、たくさんの人をなおして行って成功していくのが、すごいと思った。
- おじいさんのこしをきゅう太が治したところがすごいと思った。

『帰命寺横丁の夏』 柏葉葉子／作 （講談社）

- 生き返ってきたあかりが「月は左にある」水上さんにかかせるところがおもしろかった。
- カズがあかりを守ろうとしていた所が良かった。ミア・リーが水上のばあさんだというところがおどろいて「月は左にある」の続きが読めて良かったと思った。
- はじめはあかりがいることになっていたが、終わりはひっこしたという設定がおもしろかった。

『さくらのつぼみがひらいたら』 秋山りん／作 （角川学芸出版）

- 紀子が幸せの意味に気づいた時にイブが歩き出したのは、紀子の気持ちが伝わったんだなと思った。
- ノンコがイナとふれ合うで、少しずつ、気持ちが変わっていく場面が好きです。友情の大切さや動物の命の大切さを教えてくれる本だと思います。
- 一番身近な学校での出来事のお話だったので、共感できる部分がたくさんありました。一度は、けんかしてしまった紀子と凛花は、心と心がつながっている戦友だから、やっぱり最後は仲良くしていたんだなと思いました。